

## ハイブリッド無呼吸制限導入について

AS委員長 山田 智子

### ◆JOでの運用

フリーハイブリッドのエントリー時の呼吸から完了後最初の浮上呼吸までの水中時間の制限時間を下記の通りとし、制限時間を超えた場合は該当フリーハイブリッドにベースマークを適用する。

- 1、JO ブロック予選会 コーチカードに記載されたフリーハイブリッドの時間を採用する。  
ただし、本年度予選会では特別措置として、超過があったフリーハイブリッドへのBM適用はせず、TCからのフィードバックでの注意のみとする
- 2、JO 本選 無呼吸ハイブリッド時間を計測する

### ◆フリーハイブリッド1つの上限時間

10～12歳	15秒以内
13～15歳	20秒以内
15～18歳	25秒以内

### ◆計測方法

- ・TC 資格認定者(が望ましい)2名で計測する。
    - ※アブニア計測担当は2名とし TC 資格を有していることが望ましいが、人員確保ができない場合は有資格者でなくても良い。
  - ・タイマーはコーチカードを無呼吸時間のガイドとして使用できる。
- ① 単独ハイブリッドの場合 エントリーの呼吸から浮上呼吸まで
  - ② アクロからハイブリッドの場合 ハイブリッドの最初の動作から浮上呼吸まで
  - ③ ハイブリッドからアクロの場合 エントリーの呼吸からハイブリッドの最後の動作まで
  - ④ 競技者のエントリーと浮上のタイミングが違うハイブリッド(例えばカデンスなど)の場合  
最初にエントリーした人から最後にハイブリッドを終了(浮上)した人まで
- ・計測値の1/10秒以下を切り捨てとして、2人が同タイムならそれを計測値として採用する。
    - 例1) 15"03と15"09の場合 15"0と15"0→OK
    - 例2) 15"09と15"10の場合 15"0と15"1→BM
  - ・2名の計測値が異なる場合、1/100秒(下二桁まで、下三桁以下は切り捨て)までの平均値を計測値とする。
    - 例1) 15"00と14"95の場合 14"975→14"97としてOK
    - 例2) 15"11と14"99の場合 15"050→BM
    - 例3) 15"01と14"99の場合 15"000→OK

以上